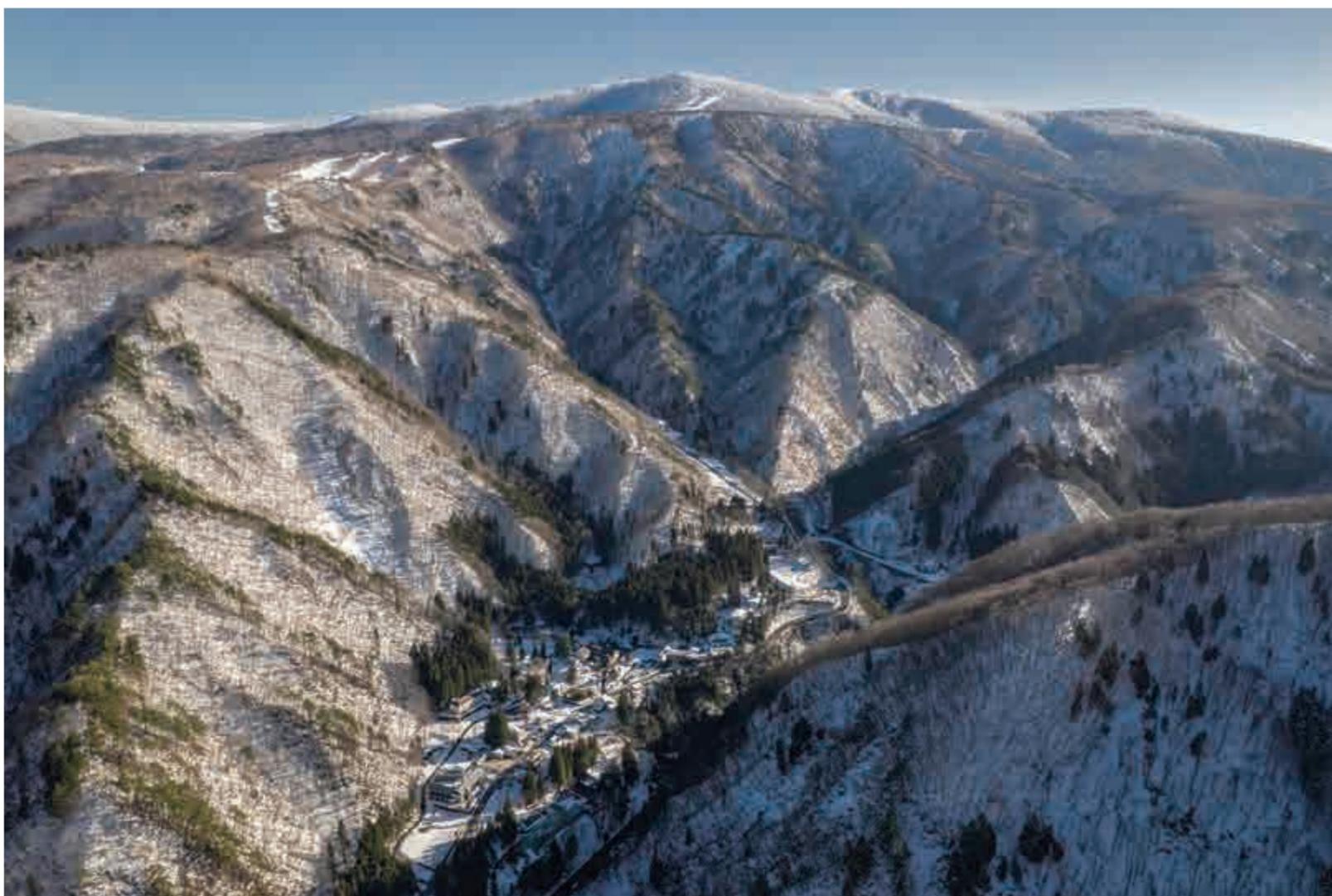


# 白布温泉

## 西吾妻山麓に息づく静寂と伝統の温泉地

National  
Parks  
of Japan



白布温泉(山形県・米沢市)は、1312年に開湯した約700年の歴史を持つ温泉地で、古くから吾妻連峰の山岳信仰と結びつき、修験者や旅人、さらに上杉家・松平家の藩主にも親しまれてきました。険しい山の自然と向き合いながら育まれた湯治文化は、今も温泉地の根幹となっています。

この地には「西屋」「中屋」「東屋」の三軒の宿があり、画像(上)に見られるように茅葺きの建物が並び山里の風情を形づくっていました。現在は配置こそ変わりましたが、今もこの地で温泉文化を守り、西屋の茅葺き屋根は当時の面影を今に伝えています。また、硫黄が採れたことや山深い立地から、上杉家の重臣・直江兼続が火縄銃の密造を行った地でもあり、温泉地でありながら人々の営みの陰影をも宿す土地として独特の歴史を重ねてきました。

いまの白布温泉は、天元台スキー場や西吾妻山への登山の拠点として親しまれるとともに、静かな湯治場としての趣もあわせ持ち、四季を通じて山と湯の恵みを味わえる場所となっています。

画像提供: 白布温泉 湯滝の宿 西屋 [画像(上)] = 大正時代中期の白布温泉



特別保護地区 特別地域 普通地域 JR 私鉄 高速道路 観光道路